# 情報ネットワークの仕組み

情報科学の世界II

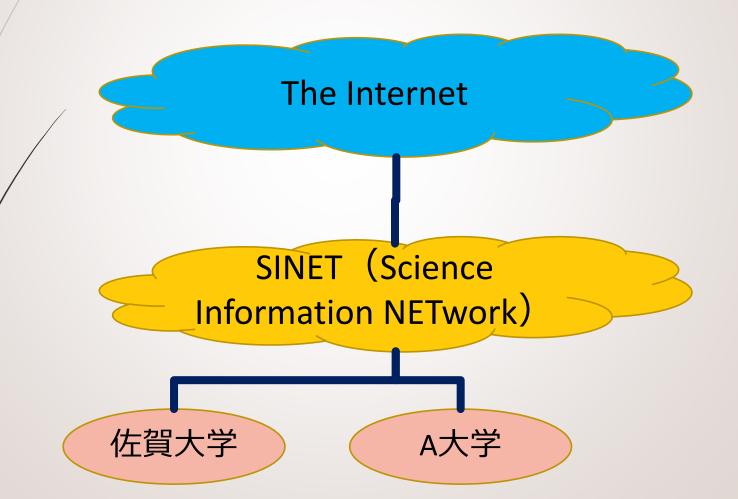
只木 進一(工学系研究科)

# 

- Internetはネットワークの集合体
- 組織内のネットワーク
  - **LAN**
  - それぞれの管理ポリシーがある
- → ネットワークを接続するネットワーク WANにも管理ポリシーがある

## 大学のネットワークとSINET

http://www.sinet.ad.jp/about\_sinet/



#### 企業内のネットワーク

- 全コンピューターが適切に管理されているはず
  - → 使用機種、OS、アプリケーション
- →高い可用性が求められる
- ─管理コストは、企業の運営コストとして計上される
  - −必要ならば、投資する

#### 大学のネットワーク

- 多様な利用者:学生、教員、事務職員
  - →初心者、高度な利用技術を有する者
- 多様な利用内容
  - →Webとメールだけ、事務処理、シミュレーション、数値計算
- 多様な機材
- ー管理者の苦労

# 利用者が守るべきルールがある 法的規制

- 不正アクセス防止
  - ■利用権限が無いシステムへの侵入
- 一個人情報保護
- 著作権保護
- 名誉毀損
- 威力業務妨害

# 利用者が守るべきルールがある 利用規程

- →利用資格の取得・確認
- →利用目的の制限
- ▶占有の禁止
- ▶運用妨害の禁止

# 利用者が守るべきルールがあるセキュリティポリシー

- ■組織全体のセキュリティ保持の方針
- セキュリティ
  - ─機密性、完全性、可用性
- →利用者の行動規範
  - ■セキュリティを脅かす行動の規制
  - →暗号化通信
  - →利用者資格の管理

# 情報システム内では、管理が及 ぶことを知る

- →利用記録が残る
  - ▶管理者の義務
  - ■個人情報として保護されている
  - ■法令等で開示を求められることがある
- 完全な匿名というのは無い

#### ネットワークの管理 LANの管理

- ►IPアドレス管理
  - ─機器に一意のアドレスを付ける
  - アドレスと管理者を対応付ける
  - →ホスト名との対応を付ける
- セキュリティ対策
  - 不正プログラムの活動監視と侵入防御
  - ►FW、IDSの設置と維持

- →利用資格の管理
  - →共通システムの利用者管理
  - 人の異動との連動
  - ▶認証システム
- 一統合認証
  - ー組織内の統一認証基盤

#### 統合認証

- →利用者の利点
  - 組織内のシステムで一つのユーザ名・パ スワードでログイン
  - いつも使うシステムであるため、パスワード忘れが少ない
- 危険性
  - パスワードが漏れると、全システムに不 正侵入される

- ▶管理者の利点
  - システム毎の利用者管理が無い
  - 利用開始・停止処理の簡素化
- 一課題
  - 利用者情報の迅速・確実な更新

#### Single Sign-On

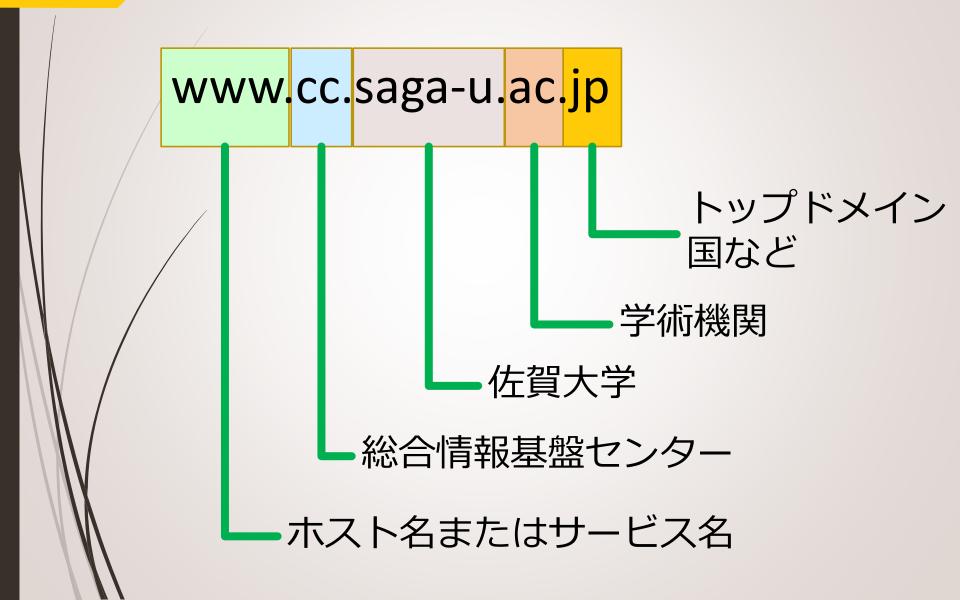
- −情報システムのWeb化
- →組織内のWebをシームレス(seamless) に連携
- 一つのシステムで認証
  - 認証済みの情報を他システムへ提供
- 認証情報を持つのは、一力所だけ

# ネットワークの管理 WANの管理

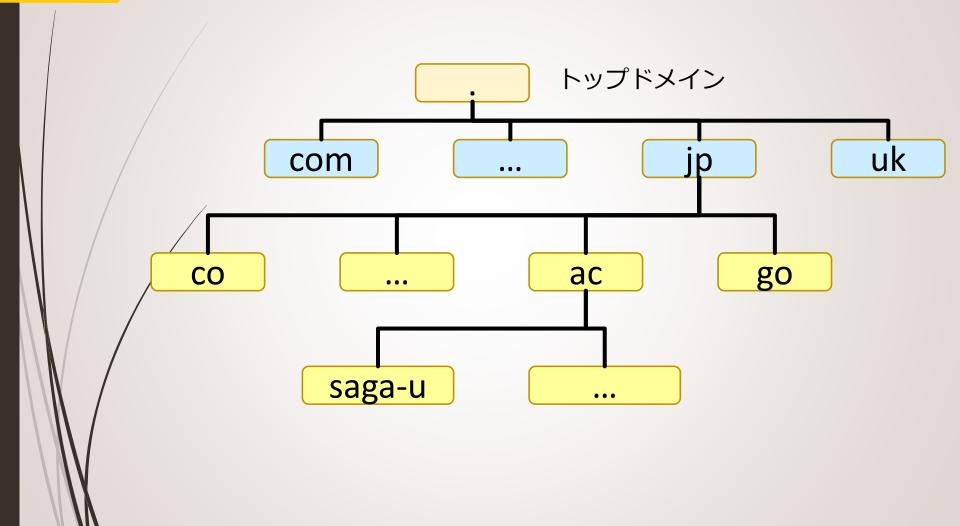
- ■IPアドレス空間割り当て
- トメインネーム割り当て
  - ▶上位サーバ運用
- 下位層の管理内容が上に移りつつある
  - →認証
  - セキュリティ

#### ドメイン

- → IPアドレスは32ビットの無味乾燥な数字
  - 人間には覚えられない
- −ホスト名を付ける
  - →世界全体に一意な名前にするには
  - −階層化する



# ドメイン構造



# 名前解決 DNS (Domain Name Service)

- ► FADN (Fully Qualified Domain Name) とIP アドレスを結びつける
  - <u>www.cc.saga-u.ac.jp</u> FQDN
  - →133.49.4.7 IPアドレス

#### インターネット上のサービス

- −電子メール
  - →受信プロトコル: POP、IMAP
  - →送信プロトコル:SMTP
  - 認証と暗号化が標準に
  - →メール本体は暗号化されていないことに 注意

- Web
  - ► HTTPプロトコル
  - ▶暗号化したHTTPSの普及
    - ▶正しいサイトであることの証明書